

NEC

P C 9 8 -

NX

活用ガイド 再セットアップ編

再セットアップするには

PC98-**NX** SERIES

VersaPro

(Windows® 2000 Professional /
Windows NT® 4.0セレクトابل)

マニュアルの 主な内容

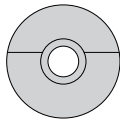
このパソコンには、次のマニュアルが用意されています。



- 『はじめにお読みください』
このパソコンの接続方法やWindowsのセットアップ手順について説明しています。
- ・型番の確認
 - ・添付品の接続
 - ・Windowsのセットアップ
 - ・マニュアル紹介



- 『活用ガイド 再セットアップ編』
このパソコンを再セットアップする場合の方法について説明しています。
- ・再セットアップの方法



- 『アプリケーション CD-ROM / マニュアル CD-ROM』
『活用ガイド ハードウェア編』、『活用ガイド ソフトウェア編』がPDF形式で収録されています。利用方法については『はじめにお読みください』をご覧ください。
- 『活用ガイド ハードウェア編』
このパソコンの取り扱い方法などを説明しています。
- ・キーボード、ハードディスク、CD-ROMドライブなどの取り扱い
 - ・周辺機器の接続と利用方法
 - ・システム設定について
- 『活用ガイド ソフトウェア編』
アプリケーションの利用方法、追加と削除の方法について説明しています。また、さまざまなトラブルへの対応方法をQ&A形式で説明しています。
- ・アプリケーションの利用方法
 - ・他のOSを利用する場合の設定
 - ・トラブル解決Q&A



はじめに

このマニュアルは、パソコンを再セットアップする方法について説明しています。

2001年 5月 初版

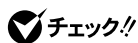
対象機種 (Windows® 2000 Professional / Windows NT® 4.0 セレクタブルモデル)

VA10J/WX、VA90J/WX、VA80J/WX、VA75H/WX、VA75H/WT、VA75H/WS

853-810028-143-A

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明していません。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性がります。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



利用の参考となる補足的な情報をまとめています。

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルで使用している表記の意味

コンパクトノート	VA10J/WX、VA90J/WX、VA80J/WX、VA75H/WX、VA75H/WT、VA75H/WS
FAXモデム内蔵モデル	FAXモデムを内蔵しているモデルのことです。
ワイヤレスモデル	本体にワイヤレス通信機能を内蔵し、別売のワイヤレスモデムステーションやAterm IWシリーズと無線通信が可能なモデルのことです。
LAN内蔵モデル	LANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。
Windows 2000モデル	ご購入時にMicrosoft® Windows® 2000 Professionalを選んでセットアップしたモデルのことです。
Windows NTモデル	ご購入時にWindows NT® 4.0を選んでセットアップしたモデルのことです。
CD-ROMモデル	CD-ROMドライブを内蔵しているモデルのことです。
CD-R/RWモデル	CD-R/RWドライブを内蔵しているモデルのことです。
CD-R/RW with DVD-ROMモデル	CD-R/RW with DVD-ROMドライブを内蔵しているモデルのことです。
Office XP Personalモデル	ご購入時にOffice XP Personalがインストールされているモデルのことです。
Office XP Professionalモデル	ご購入時にOffice XP Professionalがインストールされているモデルのことです。
Office 2000 Personalモデル	ご購入時にOffice 2000 Personalがインストールされているモデルのことです。
Office 2000 Professionalモデル	ご購入時にOffice 2000 Professionalがインストールされているモデルのことです。

【 】 【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows	次のいずれかを指します。 ・Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版 ・Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0日本語版
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0日本語版
Office XP Personal	Microsoft® Office XP Personal(Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook®、Microsoft Bookshelf® Basic 3.0)
Office XP Professional	Microsoft® Office XP Professional(Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook®, Microsoft PowerPoint®, Microsoft Access、Microsoft Bookshelf®, Basic 3.0)
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal(Microsoft Word 2000、 Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft/ Shogakukan Bookshelf®, Basic)
Office 2000 Professional	Microsoft® Office 2000 Professional(Microsoft® Word 2000、 Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft PowerPoint® 2000、Microsoft Access 2000、Microsoft Publisher 2000、Microsoft®/Shogakukan Bookshelf®, Basic)
MS-IME2002	Microsoft® IME 2002
MS-IME2000	Microsoft® IME 2000

このマニュアルで使用している画面

- ・本書に記載の画面は、モデルによって異なることがあります。
- ・本書に記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

瞬時電圧低下について

[バッテリーパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリーパックを取り付けている場合]

本装置にバッテリーパック実装時は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

レーザー安全基準について

このパソコンには、レーザーに関する安全基準(JIS-C-6802、IEC825)クラス1適合のCD-ROM・CD-R/RW・CD-R/RW with DVD-ROMドライブが内蔵されています。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBIT-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えます。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外における保守・修理対応は、海外保証サービス NEC UltraCareSM International ServiceTM 対象機種に限り、当社の定める地域・サービス拠点にてハードウェアの保守サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
<http://www.ultracare.nec.co.jp/jpn/>
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft[®] Windows[®] 2000 ProfessionalまたはMicrosoft[®] Windows NT[®]は本機でのみご使用ください。また、本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません(詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください。)
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Outlook、PowerPoint、BookshelfおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Symantec、Symantecロゴ、Norton GhostはSymantec Corporationの登録商標です。

© 2001 Symantec Corporation. All Rights Reserved.

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 2001

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェア含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っていません。(ただし、海外保証サービス NEC UltraCareSM International Service 対象機種については、海外でのハードウェア保守サービスを実施致します。)

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCareSM International Service can be provided with hardware maintenance service outside Japan.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

目次

システムを修復する(Windows 2000の場合)	1
前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する	1
セーフモードで起動する	2
「Windowsセットアップの修復」を使用してシステムを修復する	3
システムを修復する(Windows NT 4.0の場合)	6
「前回正常起動時の構成を使用」メニューを使ってシステムを修復する	6
「システム修復ディスク」を使用してシステムを修復する	7
再セットアップが必要な場合	10
こんなときは再セットアップが必要です	10
再セットアップの種類	10
再セットアップ時の注意	12
再セットアップの準備	13
必要なものをそろえる	13
システムインストールディスク(起動用)のバックアップをとる	14
ハードディスクのデータのバックアップをとる	14
パソコンの使用環境の設定を控える	15
Windows NT 4.0使用時の注意事項	15
機器の準備をする	16
再セットアップを行う	18
再セットアップ画面を起動する	18
標準再セットアップ	21
操作の流れ	21
システムを再セットアップする	22
カスタム再セットアップ(Windows 2000の場合)	25
再セットアップの種類	25
操作の流れ	25
システムを再セットアップする	26
カスタム再セットアップ(Windows NT 4.0の場合)	29
再セットアップの種類	29
操作の流れ	29
システムを再セットアップする	30
周辺機器の設定	32
ワイヤレス通信機能のセットアップ	32
内蔵FAXモデムのセットアップ	33
ネットワークのインストール	35

Office XP Personalの再セットアップ(Office XP Personalモデルのみ)	38
Office XP Personalを再セットアップする	39
Office XP Professionalの再セットアップ(Office XP Professionalモデルのみ) ...	46
Office XP Professionalを再セットアップする	47
Office 2000 Personalの再セットアップ(Office 2000 Personalモデルのみ).....	54
Office 2000 Personalを再セットアップする	55
MS-IME2000を再セットアップする(Windows NT 4.0のみ).....	59
「IMEツールバー」を非表示にする(Windows NT 4.0のみ).....	60
スタートアップに登録されているショートカットを削除する	61
Office 2000 Professionalの再セットアップ(Office 2000 Professionalモデルのみ)..	62
Office 2000 Professionalを再セットアップする	63
Publisher、顧客データマネージャ、Business Plannerを再セットアップする	66
MS-IME2000を再セットアップする(Windows NT 4.0のみ).....	69
「IMEツールバー」を非表示にする(Windows NT 4.0のみ).....	70
スタートアップに登録されているショートカットを削除する	71
各種の設定をする	72
機器や設定を元に戻す	72

システムを修復する

(Windows 2000の場合)

ここでは、Windows 2000でシステム構成を変更したことで、正常にWindows 2000が起動しなくなった場合の対処方法について説明しています。

システムの修復方法は、次の4通りの方法があります。どの方法を使うかはシステムの状況により異なりますので、次の順番で簡単な方法から試してください。

前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復

p.1「前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する」

セーフモードで起動

p.2「セーフモードで起動する」

「Windowsセットアップの修復」を使用してシステムを修復

p.3「Windowsセットアップの修復」を使用してシステムを修復する」

再セットアップを行う

p.13「再セットアップの準備」

使用しないアプリケーションを削除したい場合や、削除したアプリケーションを再追加したい場合、また、Windows 2000を再セットアップした後にアプリケーションを追加したい場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』PART2 添付アプリケーションの追加と削除』をご覧ください。

前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する

システムを変更した後で、Windows 2000が起動できなくなった場合は、前回正常起動時の構成を使用して、問題を解決することができます。



チェック!!

- ・前回システムが正常に起動したときに行った構成の変更は、すべて破棄されます。
- ・構成変更後2回以上正常に起動した後では、その変更前の構成には戻りません。

前回正常起動時の構成を使用する場合は、次の手順で行います。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴの表示が消えたらすぐに【F8】を数秒間押しつづける
- 3 「Windows 2000拡張オプションメニュー」が表示されたら、「前回正常起動時の構成」を選択し、【Enter】を押す
- 4 「オペレーティングシステムの選択」の画面が表示された場合は【Enter】を押す
- 5 「ハードウェアプロファイル / 構成の回復メニュー」の画面が表示されたら、【L】を押して起動したいプロファイルを選択し、【Enter】を押す
本機が再起動します。

これで、前回正常起動時の構成を使用してWindows 2000を起動することができます。

セーフモードで起動する

セーフモードは、Windows 2000を正常に起動させるために、最低限のデバイスドライバとサービスでシステムを起動するためのモードです。以下の手順でセーフモードを起動できます。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴの表示が消えたらすぐに【F8】を数秒間押しつづける
- 3 「Windows 2000拡張オプションメニュー」が表示されたら、「セーフモード」が選択されていることを確認し、【Enter】を押す
- 4 「オペレーティングシステムの選択」の画面が表示された場合には、画面左下に「セーフモード」の表示があるのを確認し、Windows 2000を選び【Enter】を押す
しばらくすると「お待ちください...」の画面が表示されます。
セーフモードで起動されるまでしばらくかかります。そのままお待ちください。

- 5 「Windowsはセーフモードで実行されています。」と表示されたら
「OK」ボタンをクリックする

「Windowsセットアップの修復」を使用してシステムを修復する

ファイルの破損などにより、セーフモードや前回起動時の構成を使用してもWindows 2000が正常に起動しなかった場合、システム修復や回復コンソールを使用してシステムを修復することができます。

- ✓チェック!!**
- ・システムの修復を行うには十分な知識が必要です。あらかじめWindows 2000のヘルプをご覧になり準備を行ってください。
 - ・システムの修復を行うには、Windows 2000セットアップディスクとシステム修復ディスクが必要です。Windows 2000セットアップディスクの作成方法は、次の「Windows 2000セットアップディスクの作成」を、システム修復ディスクの作成方法は、Windows 2000のヘルプをご覧ください。

Windows 2000セットアップディスクの作成

- 1 フォーマット済みの空のフロッピーディスクを4枚用意する
- 2 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 3 「名前」に「C: ¥B00TDISK¥MAKEBT32.EXE A:」と入力し、
「OK」ボタンをクリックする
「コマンドプロンプト」の画面が表示されます。

- ✓チェック!!** B00TDISKフォルダをCドライブから移動した場合は、移動したドライブ名に読み替えてください。

画面の指示にしたがって「Windows 2000セットアップディスク」を作成してください。「Windows 2000 Setup Boot Disk」と「Windows 2000 Setup Disk」の#2、#3、#4の合計4枚が作成されます。セットアップディスクの作成が終了したら、自動的に「コマンドプロンプト」の画面が閉じます。


- 4 「Windows 2000 Setup Boot Disk」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 5 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「メモ帳」を起動し、Aドライブの「TXTSETUP.SIF」を開く

6 [SetupData]セクションに以下の記述を追加する

SetupSourceDevice = ¥device¥harddisk0¥partition1

harddiskは、ハードディスクの番号です(0から始まります)、
partitionは、パーティションの番号です(1から始まります)

ハードディスク、パーティションの番号は、「スタート」ボタン 「設定」
「コントロールパネル」「管理ツール」「コンピュータの管理」「記憶域」
「ディスクの管理」で確認してください。

-  **チェック!!** この記述はi386フォルダのある場所を指定するものです。ご購入時はi386フォルダはCドライブのルートにあります。修復セットアップを行うには、i386フォルダがCドライブのルートになければなりません。i386フォルダをCドライブのルートから移動する場合には注意してください。
また、i386フォルダをCドライブ以外に移動した場合は、harddiskとpartitionの番号が変わりますので、記述を変更してください。

「システム修復 / 回復コンソール」の開始

- 1** 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows 2000 Setup Boot Disk」をセットする
「Windows 2000 Setup」の画面が表示されます。
しばらくお待ちください。
- 2** 「Please insert the disk...」と表示されたら画面の指示にしたがって、表示されている番号のセットアップディスクを入れ替え
【Enter】を押す
Windows 2000 Setup Disk#4が終了すると「セットアップへようこそ」の画面が表示されます。
- 3** 【R】を押して修復を選択する
キーボードの選択画面が表示されます。
- 4** 画面の指示に従ってキーボードを選択し【Y】を押す
「Windows 2000修復オプション」の画面が表示されます。
- 5** 回復コンソールを使用する場合は【C】を押す
システム修復処理を使用する場合は【R】を押す

6 画面の指示にしたがい、修復を行う

- **チェック!!** ・「システム修復ディスク」をバックアップ目的に使用することはできません。
- ・ Windows 2000のrepairフォルダ内の情報ならびに「システム修復ディスク」の情報は、常に最新の情報になるようにしてください。最新の構成情報がシステム修復時に反映されていないと、修復時に予期せぬエラーを引き起こす場合があります。

システムを修復する

(Windows NT 4.0の場合)

ここでは、Windows NT 4.0でシステム構成を変更したことで、正常にWindows NT 4.0が起動しなくなった場合の対処方法について説明します。

システムの修復方法には、次の3通りの方法があります。どの方法を使うかはシステムの状況により異なりますので、次の順番で簡単な方法から試してください。

「前回正常起動時の構成を使用」メニューを使用して、システムを修復
p. 6「前回正常起動時の構成を使用」メニューを使ってシステムを修復する」

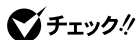
「システム修復ディスク」を使用して、システムを修復
p. 7「システム修復ディスク」を使用してシステムを修復する」

再セットアップを行う
p. 13「再セットアップの準備」

使用しないアプリケーションを削除したい場合や、削除したアプリケーションを再追加したい場合、また、Windows NT 4.0を再セットアップした後にアプリケーションを追加したい場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』PART2 添付アプリケーションの追加と削除」をご覧ください。

「前回正常起動時の構成を使用」メニューを使ってシステムを修復する

システムを変更した後で、Windows NT 4.0が起動できなくなった場合は、前回正常起動時の構成を使用して、問題を解決することができます。



チェック!!

- ・ 前回システムが正常に起動したとき以降に行った構成の変更は、すべて破棄されます。
- ・ 構成変更後2回以上正常に起動した後では、その変更前の構成には戻りません。

前回正常起動時の構成を使用するときは、次の手順に従ってください。

1 本機の電源を入れる


「ここでspaceキーを押すと、ハードウェアプロファイル/システム構成の回復メニューが表示されます」のメッセージが表示されます。

- 2 手順1のメッセージが表示されている間に【スペース】を押す
「ハードウェア プロファイル/構成の回復メニュー」が表示されます。
- 3 【L】を押して起動したいプロファイルを選択し、【Enter】を押す
前回正常起動時の構成を使用してWindows NT 4.0が起動します。

「システム修復ディスク」を使用してシステムを修復する


ファイルなどの破損により、前回正常起動時の構成を使用してもWindows NT 4.0が正常に起動しなかった場合、「Windows NTセットアップの修復」ならびに「システム修復ディスク」を使用してシステムを修復できます。「システム修復ディスク」の作成方法については、オンラインヘルプをご覧ください。

「システム修復ディスク」を作成していない場合や紛失してしまった場合でも、Windows NT 4.0のrepairフォルダの中に、修復に必要な情報が保存されているので修復は可能です。

-  **チェック!!** 「Windows NTセットアップの修復」を行うには、あらかじめ「Windows NT Workstationセットアップディスク」(以下「セットアップディスク」)を作成しておく必要があります。1.44MBフォーマット済のフロッピーディスク3枚を用意してください。

セットアップディスクの作成

- 1 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 2 「名前」に「C: ¥ i386 ¥ WINNT32 /OX」と入力し、「OK」ボタンをクリックする

-  **チェック!!** i386フォルダをCドライブから移動した場合は、移動したドライブ名に読み替えてください。i386フォルダはルートになければなりません。i386フォルダを移動する場合は注意してください。

- 3 「Windows NT 4.00のアップグレード / インストール」の画面で、「続行」ボタンをクリックする
画面の指示にしたがってセットアップディスクの作成を行ってください。
セットアップディスクの作成が終了したら、「Windows NT Workstation
セットアップブートディスク」をフロッピーディスクドライブにセットしたまま
にしておいてください。
- 4 「Windows NTエクスプローラ」を起動し、Aドライブの「TXTSETUP.
SIF」を右クリックし、「プロパティ」をクリックする
- 5 「読み取り専用」のチェックを外し、「OK」ボタンをクリックする
- 6 「メモ帳」を起動し、Aドライブの「TXTSETUP.SIF」を開く
- 7 [SetupData]セクションに以下の記述を追加する

SetupSourceDevice = ¥device¥harddisk0¥partition1

harddiskは、ハードディスクの番号です(0から始まります)。
partitionは、パーティションの番号です(1から始まります)。

ハードディスク、パーティションの番号は、「スタート」ボタン 「プログラム」
「管理ツール」 「ディスクアドミニストレータ」で確認してください。

✓チェック!! この記述はi386フォルダのある場所を指定するものです。ご購入時はi386フォルダはCドライブのルートにあります。修復セットアップを行うには、i386フォルダがCドライブのルートになければなりません。i386フォルダをCドライブのルートから移動する場合には注意してください。
また、i386フォルダをCドライブ以外に移動した場合は、harddiskとpartitionの番号が変わりますので、記述を変更してください。

「システムの修復」の開始

- 1 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows NT Workstationセットアップブートディスク」をセットする
- 2 画面の指示にしたがって、セットアップディスクを入れ替える
「セットアップへようこそ」画面が表示されます。

3 【R】を押してWindows NT 4.0のファイルの修復を選択する

4 画面の指示にしたがい、修復を行う

「システム修復ディスク」をセットするように指示されたら、「システム修復ディスク」をフロッピーディスクドライブにセットしてください。「システム修復ディスク」が無い場合は、本機上で見つかったWindows NT 4.0の一覧が表示されるので、修復するWindows NT 4.0を指定してください。

チェック!! 「・・・は、セットアップでWindows NTのインストール時にコピーしたオリジナルのファイルではありません」と表示されたら「スキップ」を選択します。ここで「スキップ」を選択しないと修復することができません。

5 修復終了のメッセージが表示されたら、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出してもう一度起動し直す

チェック!! ・修復ディスクユーティリティをバックアップ目的に使用しないでください。
・Windows NT 4.0のrepairフォルダ内の情報と「システム修復ディスク」の情報は、常に最新の情報になるようにしてください。最新の構成情報がシステム修復時に反映されていないと、修復時に予期せぬエラーを引き起こす場合があります。構成情報を最新にするには、rdisk.exeを使用してください。

参照 rdisk.exeを使うには Windows NT 4.0のオンラインヘルプの「修復ディスクユーティリティのヘルプ」



再セットアップが必要な場合

次のような症状が出てパソコンのシステムが壊れてしまったときに、添付の「バックアップCD-ROM」を使ってパソコンのシステムを購入時の状態に戻すことができます。この作業を「再セットアップ」といいます。

こんなときは再セットアップが必要です

- ・電源を入れたとき、電源ランプが点灯しているのにWindowsが起動しない
 - ・ハードディスクのプログラムが正常に動作しない
 - ・ハードディスクのシステムファイルを削除してしまった
 - ・Cドライブ(ハードディスク)の構成を変えたい
- ✓チェック!!**
- ・再セットアップを行うと、Windowsで設定した内容がすべて初期値に戻ってしまいます。また、再セットアップを行うには、BIOSセットアップメニューで設定した内容を初期値に戻す必要があります(パスワードの設定を除く)。再セットアップを行うときは、本当に必要かどうかよく判断してから行うようにしてください。
 - ・再セットアップ前にスーパーバイザパスワードやユーザパスワードが設定されていた場合、それらの設定が再セットアップ後も引き続き有効になります。

再セットアップの種類

再セットアップには、次の2種類の方法があります。必要に応じて利用形態にあった方法を選んでください。

標準再セットアップ

ハードディスクを、購入した時と同じ状態にする再セットアップ方法です。パソコン初心者の方や、システムを購入した時と同じ状態に戻したい方は、この方法を選んでください。

カスタム再セットアップ

再セットアップ時に選択したオペレーティングシステムにより、カスタム再セットアップの方法が異なります。

Windows 2000の場合

カスタム再セットアップには次の3つの方法があります。

- ・ CドライブのみをFAT32で再セットアップする
Cドライブの容量を変えずに、CドライブのみをFAT32で再セットアップすることができます。
- ・ ハードディスクの全領域を1パーティション(NTFS)にして再セットアップする
Cドライブのハードディスクの容量を最大にすることができます。
- ・ ユーザー設定で再セットアップする
ハードディスクのサイズをGB単位(NTFS)で指定して再セットアップすることができます。

Windows NT 4.0の場合

カスタム再セットアップには、次の5つの方法があります。

- ・ CドライブのみをFAT16で再セットアップする
CドライブのみをFAT16で再セットアップすることができます。
- ・ CドライブのみをNTFSで再セットアップする
CドライブのみをNTFSで再セットアップすることができます。
- ・ 8.4GBのNTFSで再セットアップする
ハードディスクを8.4GBのNTFSで再セットアップすることができます。
- ・ 3GBのFAT16で再セットアップする
ハードディスクを3GBのFAT16で再セットアップすることができます。
- ・ 2GBのFAT16で再セットアップする
ハードディスクを2GBのFAT16で再セットアップすることができます。

再セットアップ時の注意

再セットアップを行うときには必ず次の注意事項を守ってください。

マニュアルに記載されている手順どおりに行う

再セットアップを行うときは、必ずこのマニュアルに記載の手順を守ってください。手順を省略したりすると、正しく再セットアップすることができません。

再セットアップは途中でやめない

再セットアップの作業を途中で中断することはできません。いったん再セットアップを始めたら、必ず最後まで通して行ってください。再セットアップ中はオートパワーオフは無効となります。

オペレーティングシステムの選択について

本機を再セットアップする場合は、ご購入時にはじめて電源を入れたときに選択したオペレーティングシステム以外は選択できません。

再セットアップ後の状態について

ご購入後にインストールしたアプリケーションや作成されたデータは復元されません。インストールしなおしてください。また、再セットアップ後に周辺機器の設定はすべて初期状態になります。もう一度設定しなおしてください。

「Cドライブのみを再セットアップ」する場合の注意事項

再セットアップを行うハードディスクに、Cドライブより大きい未割り当てのパーティションが存在するか、もしくは拡張パーティションが存在する場合には、Cドライブのみの再セットアップができないことがあります。

これらのパーティションをプライマリパーティションとして確保してから、「Cドライブのみを再セットアップ」を行ってください。

なお、拡張パーティションは、削除してからプライマリパーティションに変更する必要がありますので、拡張パーティションのバックアップを取ってから作業を行ってください。

「プライマリパーティション」については「ディスクの管理」のヘルプをご覧ください。



再セットアップの準備

ここでは、再セットアップを行う前に準備しておくことや、再セットアップ時の注意事項について説明しています。再セットアップを始める前に必ずお読みください。

必要なものをそろえる

再セットアップには最低限次のものがが必要です。作業に入る前にあらかじめ準備しておいてください。

- ・ 本機に添付されている『はじめにお読みください』
- ・ 本機に添付されている『活用ガイド ハードウェア編』
- ・ 本機に添付されている「バックアップCD-ROM」
- ・ 本機に添付されている「アプリケーションCD-ROM」
- ・ 本機に添付されている「システムインストールディスク」フロッピーディスク
モデルによっては、添付されている「システムインストールディスク」の枚数が異なります。添付されているすべてのシステムインストールディスクが必要です。
- ・ 本機に添付されている「Office XP Personal」CD-ROM(Office XP Personalモデル)
- ・ 本機に添付されている「Office XP Professional」CD-ROM(Office XP Professionalモデル)
- ・ 本機に添付されている「Office 2000 Personal」CD-ROM(Office 2000 Personalモデル)
- ・ 本機に添付されている「Office 2000 Professional(Disc1、Disc2)」CD-ROM(Office 2000 Professionalモデル)
- ・ CD-ROMドライブ(またはCD-ROMを使用できるその他のドライブ)
CD-ROMドライブやCD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブが内蔵されていないモデルをご使用の方は、別売のCD-ROMドライブなど、CD-ROMを使用できるドライブを接続し、そのドライブに添付されているドライブのフロッピーディスクを用意してください。

取り付け、取り外しについては『活用ガイド ハードウェア編』のPART1「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」をご覧ください。


このマニュアルでは、CD-ROMドライブを使用した場合の説明が記載されています。CD-ROMドライブ以外のドライブを使用する方は、「CD-ROMドライブ」をご使用のドライブ名に読み替えてください。

システムインストールディスク(起動用)のバックアップをとる

再セットアップの作業で、「システムインストールディスク(起動用)」を使用するときは、あらかじめ別の1.44Mバイトフォーマットのフロッピーディスクにバックアップをとり、作成した複製(コピー)のほうを使用します。バックアップは、Windowsの「ディスクのコピー」または「コマンドプロンプト」から「DISKCOPY」コマンドで行うことができます。

コピーが完了したら、元のディスクは大切に保管しておき、以降の作業では、複製(コピー)のほうを使用してください。

 「ディスクのコピー」の使い方 Windowsのヘルプ

 **チェック!!** 複製(コピー)した「システムインストールディスク(起動用)」はライトプロテクトをかけずに書き込み可能な状態にしておいてください。

用語 バックアップ

ハードディスクなどに保存したファイルやフォルダを誤って消してしまった場合やハードディスクの故障など、万一の事態に備えて、フロッピーディスクや外付けハードディスクなどに複製(コピー)を作ることを「バックアップをとる」といいます。大切なデータを保護するには、定期的なデータのバックアップが有効です。

ハードディスクのデータのバックアップをとる

再セットアップを行うと、ハードディスク内に保存しておいたデータやアプリケーションはすべて消えてしまいます。消したくないデータがある場合は、必ず他のフロッピーディスクや外付けハードディスクなどにデータのバックアップをとってから再セットアップしてください。

パソコンの使用環境の設定を控える

再セットアップを行うと、インターネットやBIOSセットアップメニューなどの設定は初期値に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定で使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

控えておくもの

- ・インターネットのID
 - ・インターネットのアドレス
 - ・BIOSセットアップメニューの設定
 - ・アクセスポイントの電話番号
- など

Windows NT 4.0使用時の注意事項

Windows NT 4.0の再セットアップを行う前に、次の点をご確認ください。

- ・「BIOSセットアップメニュー」で設定を変更している場合は、Windows NT 4.0の再セットアップを行う前に、出荷時の設定に戻してください。

参照▶ 「BIOSセットアップメニュー」について 『活用ガイド ハードウェア編』の「PART3 システムの設定」

- チェック!!**
- ・ここでは、Windows NT 4.0をインストールするディレクトリをC:¥WINNT、フロッピーディスクドライブをAドライブ、CD-ROMドライブをE(またはD)ドライブとして説明します。実際と異なる場合は、読み替えてください。
 - ・実際に表示される画面は、お使いの機種によって、本文中の画面と一部異なる場合があります。
 - ・周辺機器の設定をするときには、『Microsoft Windows NT Workstationファーストステップガイド』、『活用ガイド ハードウェア編』、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

なお、再セットアップの詳しい手順については、『Microsoft Windows NT Workstationファーストステップガイド』、オンラインヘルプ、またはWindows NT 4.0の説明ファイルをご覧ください。

機器の準備をする

次の準備を行ってください。

- ・ BIOSセットアップメニューの設定を初期値に戻す
- ・ 本機の電源を切る
- ・ CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブ以外の周辺機器を取り外す
- ・ ACアダプタを接続する

BIOSセットアップメニューの設定を初期値に戻す

次の手順でBIOSセットアップメニューの設定を初期値に戻してください。

BIOSセットアップメニューの設定を初期値に戻しても、スーパーバイザパスワードやユーザパスワードは解除されません。

1 本機の電源を入れる

2 「NEC」のロゴが表示されたらすぐにキーボードの【F2】を押しつづける

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

表示されない場合は、いったん電源を切り【F2】を押しながら電源を入れなおしてください。

3 「デフォルト値をロード(Auto Configuration with Defaults)」を選び、【Enter】を押す
セットアップの確認のダイアログボックスが表示されます。

4 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押す
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

5 キーボードの【F10】を押す
セットアップの確認のダイアログボックスが表示されます。

6 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押す
これでBIOSセットアップメニューの設定が初期値に戻りました。

本機の電源を切る

スタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)になっている場合には一度データを保存し、電源を切ってください。

CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブ以外の周辺機器を取り外す

『はじめにお読みください』をご覧になり、再セットアップに必要なCD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブ以外の周辺機器を取り外してご購入時と同じ状態にしてください。

ACアダプタを接続する

バッテリー駆動では再セットアップすることはできません。必ずACアダプタを接続しておいてください。

これで再セットアップの準備がすべて整いました。

「再セットアップを行う」(p.18)に進んでください。



再セットアップを行う

再セットアップの作業は、まず再セットアップ画面を起動し、そこから各再セットアップを選択して行います。

ここでは、再セットアップ画面の起動方法について説明します。

再セットアップ画面を起動する

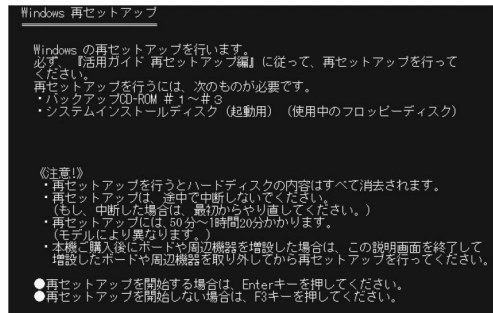
- 1 CD-ROMドライブが内蔵されていないモデルをお使いの場合は取り付ける
- 2 本機の電源を入れる
- 3 「NEC」のロゴが表示されたらすぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする



チェック!!

- ・CD-ROMドライブを選択する画面が表示された場合は、ご使用のCD-ROMドライブを選択してください。
- ・「Insert diskette for drive B: and press any key when ready」と表示された場合は、添付の「システムインストールディスク(PCカードサポートソフトウェア)」をフロッピーディスクドライブにセットし【Enter】を押してください。
- ・「Insert diskette for drive A: and press any key when ready」と表示された場合は、添付の「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットし【Enter】を押してください。
- ・お使いのCD-ROMドライブ用ドライバをフロッピーディスクドライブに入れ替えるようメッセージが表示された場合はメッセージに従ってください。
- ・CD-ROMドライブが接続されていないことを示すメッセージが表示された場合はメッセージに従ってください。

しばらくすると次の画面が表示されます。

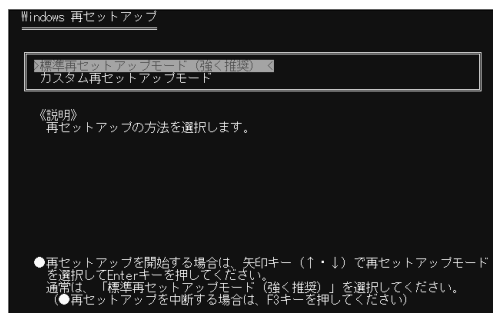


チェック!! 「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切ってもう一度手順1からやり直してください。

再セットアップにかかる時間や、フロッピーディスクおよびCD-ROMの枚数はモデルによって異なります。実際の画面で確認してください。

4 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM#1」をセットする

5 【Enter】を押す 次の画面が表示されます。



これ以降は、再セットアップの種類により異なります。

標準再セットアップ 「標準再セットアップ」(p.21)へ

カスタム再セットアップ

・Windows 2000の場合

「カスタム再セットアップ(Windows 2000の場合)」(p.25)へ

・Windows NT 4.0の場合

「カスタム再セットアップ(Windows NT 4.0の場合)」(p.29)へ



標準再セットアップ

操作の流れ

再セットアップの操作は次の手順で進めます。

1. システムを再セットアップする(p.22)
2. Windowsの設定をする
『はじめにお読みください』の「オペレーティングシステム(OS)を選択する」
3. 周辺機器の設定(Windows NT 4.0のみ)(p.32)
4. アプリケーションを再セットアップする
 - ・ Office XP Personalモデルの場合
「Office XP Personalの再セットアップ」(p.38)
 - ・ Office XP Professionalモデルの場合
「Office XP Professionalの再セットアップ」(p.46)
 - ・ Office 2000 Personalモデルの場合
「Office 2000 Personalの再セットアップ」(p.54)
 - ・ Office 2000 Professionalモデルの場合
「Office 2000 Professionalの再セットアップ」(p.62)
5. 各種の設定をする(p.72)

システムを再セットアップする

✓チェック!! ・以下の手順の中で「システムインストールディスク#*(*は数字)をフロッピーディスクドライブに挿入するよう要求された場合には、画面の指示に従ってください。

・再セットアップの作業を途中で中断することはできません。いったん再セットアップを始めたら、必ず最後まで通して行ってください。

1 「再セットアップ画面を起動する (p.18)の手順を行い、再セットアップ画面を起動する

2 再セットアップ画面で、「標準再セットアップモード(強く推奨)」が選択されていることを確認して【Enter】を押す
「ハードディスクの内容を購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。

3 【】を押して「はい」を選ぶ

4 【Enter】を押す

セットアップに必要なファイルのコピーが始まります。

「! Insert next media and press enter to continue...」と表示された場合は「バックアップCD-ROM#2」を入れて「OK」が選択されていることを確認して【Enter】を押してください。

引き続き、セットアップに必要なファイルのコピーが始まります。

ファイルのコピーが終了すると、パソコンが自動的に再起動します。このとき、フロッピーディスクとCD-ROMは取り出さないでください。

✓チェック!! ・CD-ROMドライブを選択する画面が表示された場合は、ご使用のCD-ROMドライブを選択してください。

・「Insert diskette for drive B: and press any key when ready」と表示された場合は、添付の「システムインストールディスク(PCカードサポートソフトウェア)」をフロッピーディスクドライブにセットし【Enter】を押してください。

・「Insert diskette for drive A: and press any key when ready」と表示された場合は、添付の「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットし【Enter】を押してください。

* 本機では、Symantec Norton Ghostを使用しています。
Symantec Norton Ghostにつきましては、添付のシステムインストールディスクの¥GHOST.TXTをご覧ください。

- ・お使いのCD-ROMドライブ用ドライバをフロッピーディスクドライブに入れ替えるようメッセージが表示された場合はメッセージに従ってください。
- ・CD-ROMドライブが接続されていないことを示すメッセージが表示された場合はメッセージに従ってください。

5 次のCD-ROMの挿入をうながすメッセージが表示された場合は、表示されたCD-ROMをドライブにセットして【Enter】を押すセットアップに必要なファイルのコピーが始まります。

チェック!! ファイルのコピー中に、約5～10分間画面が止まったように見えることがありますが、問題ありませんのでそのまましばらくお待ちください。

6 フロッピーディスク、CD-ROMをドライブから取り出すよう要求されたら、フロッピーディスクとCD-ROMをドライブから取り出す

チェック!! CD-ROMドライブが内蔵されていないモデルで、PCカード経由でCD-ROMドライブをお使いの場合は、いったん電源を切り、外付けのCD-ROMドライブを取り外し、PCカードスロットからPCカードを抜いてから電源を入れなおしてください。

7 【Enter】を押す
本機が再起動します。

標準再セットアップを選択された場合は、続けて「Windowsの設定をする」に進んでください。

Windowsの設定をする

ご購入時にWindows 2000を選択した場合

『はじめにお読みください』の「オペレーティングシステム(OS)を選択する」からの手順にしたがってWindows 2000を選択し、続けてWindows 2000の設定を行ってください

ご購入時にWindows NT 4.0を選択をした場合

『はじめにお読みください』の「オペレーティングシステム(OS)を選択する」からの手順にしたがってWindows NT 4.0を選択し、続けてWindows NT 4.0の設定を行ってください


このあとにご使用のオペレーティングシステムやモデルにより手順が異なります。

Windows 2000の場合

- ・ Office XP Personalモデル 「Office XP Personalの再セットアップ」
(p.38)へ
- ・ Office XP Professionalモデル 「Office XP Professionalの再セットアップ」
(p.46)へ
- ・ Office 2000 Personalモデル 「Office 2000 Personalの再セットアップ」
(p.54)へ
- ・ Office 2000 Professionalモデル 「Office 2000 Professionalの再セットアップ」
(p.62)へ
- ・ 上記以外のモデル これで再セットアップは終了です。「各種の設定をする」
(p.72)へ進んでください。

Windows NT 4.0の場合

「周辺機器の設定」
(p.32)へ



カスタム再セットアップ

(Windows 2000の場合)

ここでは、Windows 2000のカスタム再セットアップについて説明します。
Windows NT 4.0のカスタム再セットアップについてはp.29をご覧ください。

再セットアップの種類

Windows 2000のカスタム再セットアップには次の3つの方法があります。

- ・ CドライブのみをFAT32で再セットアップする
Cドライブの容量を変えずに、CドライブのみをFAT32で再セットアップすることができます。
- ・ ハードディスクの全領域を1パーティション(NTFS)にして再セットアップする
ハードディスクの全領域を1つのパーティション(NTFS)にして、再セットアップすることができます。
- ・ ユーザー設定で再セットアップする
ハードディスクのサイズをGB単位(NTFS)で指定して、再セットアップすることができます。

操作の流れ

再セットアップの操作は次の手順に進めます。

1. システムを再セットアップする (p.26)
2. Windows 2000の設定をする (『はじめにお読みください』の「Windows 2000のセットアップ」)
3. アプリケーションを再セットアップする
 - ・ Office XP Personalモデルの場合
「Office XP Personalの再セットアップ」(p.38)
 - ・ Office XP Professionalモデルの場合
「Office XP Professionalの再セットアップ」(p.46)

- ・ Office 2000 Personalモデルの場合
「Office 2000 Personalの再セットアップ」(p.54)
 - ・ Office 2000 Professionalモデルの場合
「Office 2000 Professionalの再セットアップ」(p.62)
4. 各種の設定をする(p.72)

チェック! 「CドライブのみFAT32で再セットアップ」を行うときで、Cドライブ以外のハードディスクにアプリケーションをインストールしている場合、再セットアップ後、ハードディスクにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションは再インストールが必要になる場合があります。アプリケーションがうまく動作しなくなった場合には、再セットアップ後にアプリケーションを再インストールしてください。

システムを再セットアップする

- チェック!** ・以下の手順の中で「システムインストールディスク#*(*は数字)をフロッピーディスクドライブに挿入するよう要求された場合には、画面の指示に従ってください。
- ・再セットアップの作業を途中で中断することはできません。いったん再セットアップを始めたら、必ず最後まで通して行ってください。

- 1** 「再セットアップ画面を起動する」(p.18)の手順を行い、再セットアップ画面を起動する
- 2** 再セットアップ画面で、【 】を押して「カスタム再セットアップモード」を選択し、【Enter】を押す
「ご購入時に選択したオペレーティングシステムを選択してください。」と表示されます。
- 3** 「Windows 2000 Professional」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

4 【 】を押して、カスタム再セットアップの種類を選択する

- ・ CドライブのみをFAT32で再セットアップする場合
「CドライブのみをFAT32で再セットアップ」
- ・ ハードディスクの全領域を1パーティション(NTFS)にして再セットアップする場合
「全領域を1パーティション(NTFS)にして再セットアップ」
- ・ ユーザー設定で再セットアップする場合
「ユーザー設定によるセットアップ」

5 【Enter】を押す

確認メッセージが表示されます。

これ以降は、選択したカスタム再セットアップの種類により手順が異なります。

「CドライブのみをFAT32で再セットアップ」または「全領域を1パーティション(NTFS)にして再セットアップ」を選択した場合

「標準再セットアップ (p.21) の手順3~7の作業を行ってください。作業が終了した後、『はじめにお読みください』の「Windows 2000のセットアップ」の手順にしたがってWindows 2000の設定を行ってください。

「ユーザー設定による再セットアップ」を選択した場合

6 3GB以上で、お使いのハードディスクの容量より少ない値を のところに入力し、【Enter】を押す

「*GBでCドライブを確保します。」と表示されます。

*には、入力した値が表示されます。

7 【F8】を押す

セットアップに必要なファイルのコピーが始まります。

「! Insert next media and press enter to continue...」と表示されたら「バックアップCD-ROM#2」を入れて「OK」が選択されていることを確認して【Enter】を押してください。

引き続き、セットアップに必要なファイルのコピーが始まります。

ファイルのコピーが終了すると、パソコンが自動的に再起動します。このとき、フロッピーディスクとCD-ROMは取り出さないでください。



チェック!!


- ・CD-ROMドライブを選択する画面が表示された場合は、ご使用のCD-ROMドライブを選択してください。
- ・「Insert diskette for drive B: and press any key when ready」と表示された場合は、添付の「システムインストールディスク(PCカードサポートソフトウェア)」をフロッピーディスクドライブにセットし【Enter】を押してください。
- ・「Insert diskette for drive A: and press any key when ready」と表示された場合は、添付の「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットし【Enter】を押してください。
- ・お使いのCD-ROMドライブ用ドライバをフロッピーディスクドライブに入れ替えるようメッセージが表示された場合はメッセージに従ってください。
- ・CD-ROMドライブが接続されていないことを示すメッセージが表示された場合はメッセージに従ってください。

作業が終了した後、「標準再セットアップ」(p.21)の手順5~7の作業を行ってください。

作業が終了した後、『はじめにお読みください』の「Windows 2000のセットアップ」の手順にしたがってWindows 2000の設定を行ってください。

このあとはご使用のモデルにより手順が異なります。

- ・Office XP Personalモデル 「Office XP Personalの再セットアップ」(p.38)へ
- ・Office XP Professionalモデル 「Office XP Professionalの再セットアップ」(p.46)へ
- ・Office 2000 Personalモデル 「Office 2000 Personalの再セットアップ」(p.54)へ
- ・Office 2000 Professionalモデル 「Office 2000 Professionalの再セットアップ」(p.62)へ
- ・上記以外のモデル これで再セットアップは終了です。「各種の設定をする」(p.72)へ進んでください。



カスタム再セットアップ

(Windows NT 4.0の場合)

ここでは、Windows NT 4.0のカスタム再セットアップについて説明しています。Windows 2000のカスタム再セットアップについてはp.25をご覧ください。

再セットアップの種類

Windows NT 4.0のカスタム再セットアップには次の5つの方法があります。

- ・ CドライブのみをFAT16で再セットアップする
Cドライブの容量を変えずに、CドライブのみをFAT16で再セットアップすることができます。
- ・ CドライブのみをNTFSで再セットアップする
ハードディスクのCドライブをNTFSで再セットアップすることができます。
- ・ 8.4GBのNTFSで再セットアップする
ハードディスクを8.4GBのNTFSで再セットアップすることができます。
- ・ 3GBのFAT16で再セットアップする
ハードディスクを3GBのFAT16で再セットアップすることができます。
- ・ 2GBのFAT16で再セットアップする
ハードディスクを2GBのFAT16で再セットアップすることができます。

操作の流れ

再セットアップの操作は次の手順で進めます。

1. システムを再セットアップする(p.30)
2. Windows NT 4.0の設定をする 『はじめにお読みください』の「Windows NT 4.0のセットアップ」)
3. 周辺機器の設定(p.32)
4. アプリケーションを再セットアップする
 - ・ Office XP Personalモデルの場合
「Office XP Personalの再セットアップ」(p.38)

- ・ Office XP Professionalモデルの場合
「Office XP Professionalの再セットアップ」(p.46)
- ・ Office 2000 Personalモデルの場合
「Office 2000 Personalの再セットアップ」(p.54)
- ・ Office 2000 Professionalモデルの場合
「Office 2000 Professionalの再セットアップ」(p.62)

5. 各種の設定をする(p.72)

- ✓チェック!!** FAT16で再セットアップを行うときに、Cドライブ以外のハードディスクにアプリケーションをインストールしている場合、再セットアップ後、ハードディスクにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションは再インストールが必要になる場合があります。アプリケーションがうまく動作しなくなった場合には、再セットアップ後にアプリケーションを再インストールしてください。

システムを再セットアップする

- ✓チェック!!** ・ 以下の手順の中で「システムインストールディスク#*(*は数字)をフロッピーディスクドライブに挿入するよう要求された場合には、画面の指示に従ってください。
- ・ 再セットアップの作業を途中で中断することはできません。いったん再セットアップを始めたら、必ず最後まで通して行ってください。

- 1** 「再セットアップ画面を起動する(p.18)の手順を行い、再セットアップ画面を起動する
- 2** 再セットアップ画面で、【 】を押して「カスタム再セットアップモード」を選択し【Enter】を押す
「ご購入時に選択したオペレーティングシステムを選択してください。」と表示されます。
- 3** 【 】を押して「Windows NT 4.0 Workstation」を選択し【Enter】を押す

4 【 】を押して、カスタム再セットアップの種類を選択する

- ・ CドライブのみをFAT16で再セットアップする場合
「CドライブのみをFAT16で再セットアップ」
- ・ CドライブのみをNTFSで再セットアップする場合
「CドライブのみをNTFSで再セットアップ」
- ・ 8.4GBのNTFSで再セットアップする場合
「8.4GBのNTFSで再セットアップ」
- ・ 3GBのFAT16で再セットアップする場合
「3GBのFAT16で再セットアップ」
- ・ 2GBのFAT16で再セットアップする場合
「2GBのFAT16で再セットアップ」

5 【Enter】を押す

確認メッセージが表示されます。

作業が終了した後、「標準再セットアップ」(p.21)の手順3~7の作業を行ってください。

次に、『はじめにお読みください』の「Windows NT 4.0のセットアップ」の手順にしたがってWindows NT 4.0の設定を行ってください。

Windows NT 4.0の設定が終わったら、p.32の「周辺機器の設定」に進んでください。



周辺機器の設定

Windows NT 4.0のセットアップに続いて、周辺機器の設定を行います。
パソコンのモデルに応じて、必要な周辺機器の設定を行ってください。

ワイヤレス通信機能のセットアップ

次の説明は、ワイヤレスモデルのみを対象としています。
次の手順でワイヤレス通信機能のセットアップを行ってください。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 「コントロールパネル」を開き、「モデム」アイコンをダブルクリックする
- 3 「新しいモデムのインストール」の画面で「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 5 「フロッピーディスクからインストール」の画面で次のように入力し、「OK」ボタンをクリックする
C: ¥NT40 ¥PHS
- 6 「NEC PIAFS64K Wireless(DCXB)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「選択したポート」をクリックして「COM2」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「モデムは正常にセットアップされました。」と表示されたら「完了」ボタンをクリックする
- 9 「閉じる」ボタンをクリックする

内蔵FAXモデムのセットアップ

✓チェック!! ワイヤレスモデルを使用している場合は、内蔵FAXモデムのセットアップを行う前に「ワイヤレス通信機能のセットアップ」(p.32)を行ってください。

次の説明は、FAXモデム内蔵モデルのみを対象としています。
次の手順で内蔵FAXモデムのセットアップを行ってください。

モデムとLANを同時に搭載しているモデルの場合とLAN非搭載(モデムのみ)のモデルの場合では、手順が異なります。お使いのモデルに合わせた手順を行ってください。

・モデム / LAN同時搭載のモデルの場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「シリアルポート」アイコンをダブルクリックする
- 2 「追加」ボタンをクリックする
- 3 「新しいポートの詳細設定」画面で各設定を選ぶ
 - ・「COMポート番号」は「2」を選んでください。「2」がすでに使用されている場合は、「3」を選んでください。
 - ・「I/Oポートアドレス」は他のデバイスと競合しない値を選んでください。
 - ・「割り込み番号」は、『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「割り込みレベルとDMAチャンネル」をご覧ください。割り込みレベル一覧に記載されている値を設定してください。
- 4 「OK」ボタンをクリックする
- 5 「システム設定の変更」画面で「再起動しない」ボタンをクリックする
- 6 「閉じる」ボタンをクリックする
- 7 「コントロールパネル」の「モデム」アイコンをダブルクリックする
「モデムのプロパティ」画面が表示された場合は「追加」ボタンをクリックしてください。

- 8 「新しいモデムのインストール」画面で「モデムを一覧から選択するので検出しない」にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「ディスク使用」ボタンをクリックする
「フロッピーディスクからインストール」画面が表示されます。
- 10 「C: ¥NT40 ¥XCMODEM」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 11 次のドライバが選ばれていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックする

Xircom MPC I Modem 56
- 12 どのポートにインストールするかを尋ねてくるので、「選択したポート」をクリックする
- 13 手順3で選択したポートをクリックする
- 14 「次へ」ボタンをクリックする
- 15 「所在地情報」画面が表示された場合は、「所在地情報」を設定し、「次へ」ボタンをクリックし、次の画面でもう一度「次へ」ボタンをクリックする
- 16 「モデムは正常にセットアップされました。」と表示されたら「完了」ボタンをクリックする
- 17 「閉じる」ボタンをクリックする
- 18 本機を再起動する

・LAN非搭載 モデムのみ のモデルの場合

- 1 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 2 「ファイル名を指定して実行」画面で次のように入力し、「OK」ボタンをクリックする
C: ¥NT40 ¥LTMODEM2 ¥SETUP . EXE
- 3 「Next」ボタンをクリックする
- 4 「Install new modem driver and components」をクリックし、「Next」ボタンをクリックする
- 5 「Yes, I want to restart my computer now.」が選択されていることを確認し、「Finish」ボタンをクリックする

ネットワークのインストール

次の説明は、LAN内蔵モデルのみを対象としています。
次の手順で内蔵LANドライバのセットアップを行ってください。

すでにLANドライバがインストールされている場合は、以下の設定は不要です。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックする
「Windows NTネットワークがインストールされていません。今すぐインストールしますか?」と表示されます。
- 2 「はい」ボタンをクリックする
- 3 「ネットワークセットアップウィザード」の画面で「ネットワークに接続」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

このあと、次の「ネットワークアダプタのインストール」へ進んでください。

- 1** ネットワークアダプタの検索画面が表示されるので、「一覧から選択」ボタンをクリックする
- 2** 「ネットワークアダプタの選択」の画面で「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 3** 「フロッピーディスクの挿入」の画面が表示されるので、次のように入力して「OK」ボタンをクリックする

C: ¥NT40¥100BASE

- 4** 「OEMオプションの選択」の画面が表示されるので、リストから「Intel(R) PRO Adapter」を選択して「OK」ボタンをクリックする
- 5** ネットワークアダプタの検索画面に「Intel(R) PRO Adapter」と表示され、チェックボックスにチェックがついていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックする

- 6** 以降は、お使いの環境にあわせてメッセージに従って進んでください

次の手順でネットワークアダプタのセットアップを行ってください。

- ・ネットワークプロトコルの選択
- ・ネットワークサービスの選択
- ・ネットワークの設定の確認
- ・ネットワークバインドの調整
- ・ワークグループまたはドメインの参加



チェック!!

- ・ネットワークに必要なファイルの読み込みが要求された場合は、キーボードから「C: ¥i386」と入力して「続行」ボタンをクリックしてください。
- ・インストール時に、必要に応じてダイアログが表示されます。表示された場合は、メッセージに従い、設定してください。
- ・Windows NT 4.0のセットアップ終了後にネットワークの設定を行った場合は、ネットワークの設定後に本機を再起動するか確認の画面が表示されますが、再起動はしないでください。「スタート」ボタン「プログラム」「Service Pack6」「Service Pack6のインストール」をクリックしてService Pack6aをインストールしてください。それ以降は、画面の指示にしたがってインストールを続行してください。ファイルコピー中にファイルの置き換えを確認するメッセージが表示された場合には、「いいえ」ボタンまたは「すべて上書きしない」ボタンをクリックしてください。

これでネットワークをインストールする手順が終了しました。これ以降は画面の指示にしたがって設定してください。

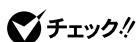
このあとは、ご使用のモデルにより手順が異なります。

- ・Office XP Personalモデル 「Office XP Personalの再セットアップ」
(p.38)へ
- ・Office XP Professionalモデル 「Office XP Professionalの再セットアップ」
(p.46)へ
- ・Office 2000 Personalモデル 「Office 2000 Personalの再セットアップ」
(p.54)へ
- ・Office 2000 Professionalモデル 「Office 2000 Professionalの再セットアップ」
(p.62)へ
- ・上記以外のモデル これですべて再セットアップは終了です。「各種の設定をする」
(p.72)へ進んでください。



Office XP Personalの再セットアップ (Office XP Personalモデルのみ)

ここでの作業は、Office XP Personalモデルにのみ必要な作業です。
Office XP Professionalモデルの場合はp.46をご覧ください。
Office 2000 Personalモデルの場合はp.54をご覧ください。
Office 2000 Professionalモデルの場合はp.62をご覧ください。



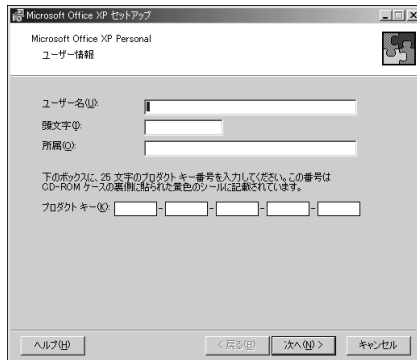
チェック!!

- ・CD-ROMドライブが内蔵されていないモデルで、PCカード経由でCD-ROMドライブをお使いの場合は、いったん電源を切りPCカードスロットにPCカードを挿入してから電源を入れなおしてください。
- ・CD-ROMドライブが内蔵されていないモデルで、USB CD-ROMドライブをお使いの場合は、Office XP Personalを再セットアップする前にUSB CD-ROMドライブを使える状態にしておいてください。
- ・Office XP Personalを再セットアップする場合は、必ずユーザ名「Administrator」でログオンしてから行ってください。
- ・Windows 2000をご使用の場合、本機にはWindows 2000 Service Pack 1 日本語版(以下Service Pack 1)がインストールされています。Service Pack 1はWindows再セットアップ直後(Ooffice XP Personalの再セットアップを行う前)にしか削除することができません。Service Pack 1を削除する場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』のPART4「トラブル解決Q&A」をご覧ください。
- ・「Office XP Personal」を削除したり、本機を再セットアップした場合、「Office XP Personal」を再追加すると、「Office XP Personal」のアプリケーション(WordやExcelなど)を最初に起動したときに、「Microsoft Office XP Personal ライセンス認証ウィザード」ウィンドウが表示されます。この場合は、「Office XP Personal」に添付のOffice XPのセットアップガイドをご覧ください。ライセンス認証を行ってください。

Office XP Personalを再セットアップする

Windows 2000の場合

- 1 「Office XP Personal」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする自動的にセットアッププログラムが起動し、しばらくすると次の画面が表示されます。



✓チェック!! ・「Windows 2000の紹介」の画面を表示させている場合は、この画面がうしろに隠れてしまう場合があります。

- 2 「ユーザー情報(ユーザー名、頭文字、所属、プロダクトキー)」を入力する
ユーザー名やその他の項目の入力は省略することができます。
なお、プロダクトキー(「Office XP Personalの添付品」に記載されています)をここで入力すると、Office XP アプリケーションを最初に起動したときのプロダクトキーの入力作業が必要なくなります。
- 3 「次へ」ボタンをクリックする
使用許諾契約書の画面が表示されます。
- 4 画面の内容をよく読み、「使用許諾契約書」の条項に同意します」のをクリックしてにし、「次へ」ボタンをクリックする
インストールの種類を選択する画面が表示されます。

5 「カスタム」の をクリックして にし、「次へ」ボタンをクリックする
インストールするOffice XPのアプリケーションを指定する画面が表示されます。





6 「アプリケーションごとにオプションを指定してインストールします」の をクリックして にし、「次へ」ボタンをクリックする
次の画面が表示されます。



7 (Microsoft Office) をクリックし、表示されるメニューから「マイ コンピュータからすべて実行」をクリックする
灰色で表示されたアイコンがないことを確認してください。

8 「Microsoft Excel for Windows」-「読み上げ」の をクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする
 をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、 (読み上げ) が (X) に変わります。

9 「Office 共有機能」-「入力システムの拡張」-「音声」の をクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする
 をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、 (音声) が (X) に変わります。

10 「Office 共有機能」-「入力システムの拡張」-「IME」-「IME パッドアプレット」-「音声アプレット」の  クリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする
 をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、 (音声アプレット) が  に変わります。

11 「次へ」ボタンをクリックする
インストール内容の確認画面が表示されます。

12 「完了」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まり、自動的に設定が行われます。しばらくお待ちください。
インストールが終了すると、再起動をうながすメッセージが表示されます。

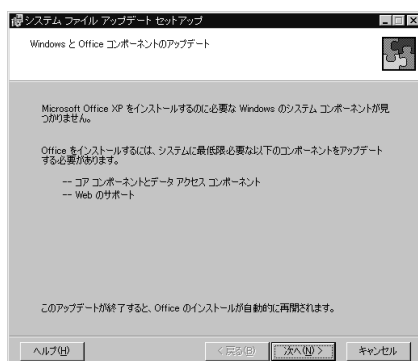
13 「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

14 CD-ROMドライブから「Office XP Personal」CD-ROMを取り出す

これで再セットアップは終了です。
p.72の「各種の設定をする」に進んでください。

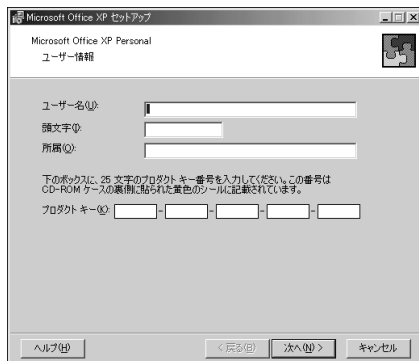
Windows NT 4.0の場合

- 1 「Office XP Personal」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする自動的にセットアッププログラムが起動し、しばらくすると次の画面が表示されます。



- 2 「次へ」ボタンをクリックする
Windowsの更新を選択する画面が表示されます。
- 3 「Windowsの更新」の▼をクリックし、「Microsoft Internet Explorer をアップグレードしない」を選択して「次へ」ボタンをクリックする
「Microsoft Internet Explorer をアップグレードしない」が表示されたことを確認してください。
- 4 「次へ」ボタンをクリックする
使用許諾契約書の画面が表示されます。
- 5 画面の内容をよく読み、「使用許諾契約書」の条項に同意します」の☐をクリックして☑にし、「完了」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まり、自動的に設定が行われます。しばらくお待ちください。
インストールが終了すると、再起動をうながすメッセージが表示されます。

- 6** 「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動し、自動的にセットアッププログラムが起動し、しばらくすると次の画面が表示されます。



- 7** 「ユーザー情報(ユーザー名、頭文字、所属、プロダクトキー)」を入力する
ユーザー名やその他の項目の入力は省略することができます。
なお、プロダクトキー(「Office XP Personalの添付品」に記載されています)をここで入力すると、Office XP アプリケーションを最初に起動したときのプロダクトキーの入力作業が必要なくなります。

- 8** 「次へ」ボタンをクリックする
使用許諾契約書の画面が表示されます。





- 9** 画面の内容をよく読み、「使用許諾契約書」の条項に同意します」のをクリックしてにし、「次へ」ボタンをクリックする
インストールの種類を選択する画面が表示されます。

- 10** 「カスタム」のをクリックしてにし、「次へ」ボタンをクリックする
インストールするOffice XPのアプリケーションを指定する画面が表示されます。

- 11 「アプリケーションごとにオプションを指定してインストールします」の をクリックして にし、「次へ」ボタンをクリックする次の画面が表示されます。



- 12 (Microsoft Office) をクリックし、表示されるメニューから「マイコンピュータからすべて実行」をクリックする
灰色で表示されたアイコンがないことを確認してください。
- 13 「Microsoft Excel for Windows」-「読み上げ」の をクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする
 をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、 (読み上げ) が に変わります。
- 14 「Office共有機能」-「入力システムの拡張」-「音声」の をクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする
 をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、 (音声) が に変わります。
- 15 「Office 共有機能」-「入力システムの拡張」-「IME」-「IME パッドアプレット」-「音声アプレット」の をクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする
 をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、 (音声アプレット) が に変わります。

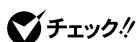
- 16** 「Officeツール」-「高速検索のサポート」のをクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする
をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、「高速検索のサポート」がに変わります。
- 17** 「次へ」ボタンをクリックする
インストール内容の確認画面が表示されます。
- 18** 「完了」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まり、自動的に設定が行われます。しばらくお待ちください。
インストールが終了すると、再起動をうながすメッセージが表示されます。
- 19** 「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
- 20** CD-ROMドライブから「Office XP Personal」CD-ROMを取り出す

これで再セットアップは終了です。
p.72の「各種の設定をする」に進んでください。



Office XP Professionalの再セットアップ (Office XP Professionalモデルのみ)

ここでの作業は、Office XP Professionalモデルにのみ必要な作業です。
Office XP Personalモデルの場合はp.38をご覧ください。
Office 2000 Personalモデルの場合はp.54をご覧ください。
Office 2000 Professionalモデルの場合はp.62をご覧ください。



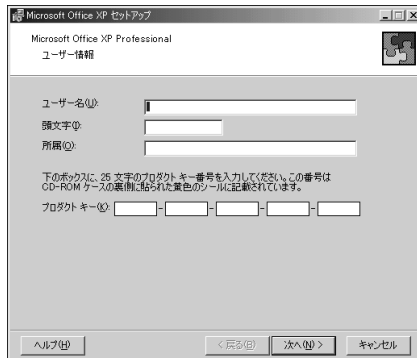
チェック!!

- ・CD-ROMドライブが内蔵されていないモデルで、PCカード経由でCD-ROMドライブをお使いの場合は、いったん電源を切りPCカードスロットにPCカードを挿入してから電源を入れなおしてください。
- ・CD-ROMドライブが内蔵されていないモデルで、USB CD-ROMドライブをお使いの場合は、Office XP Professionalを再セットアップする前にUSB CD-ROMドライブを使える状態にしておいてください。
- ・Office XP Professionalを再セットアップする場合は、必ずユーザ名「Administrator」でログオンしてから行ってください。
- ・Windows 2000をご使用の場合、本機にはWindows 2000 Service Pack 1日本語版(以下Service Pack 1)がインストールされています。Service Pack 1はWindows再セットアップ直後(Office XP Professionalの再セットアップを行う前)にしか削除することができません。Service Pack 1を削除する場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』のPART4「トラブル解決Q&A」をご覧ください。
- ・「Office XP Professional」を削除したり、本機を再セットアップした場合、「Office XP Professional」を再追加すると、「Office XP Professional」のアプリケーション(WordやExcelなど)を最初に起動したときに、「Microsoft Office XP Professionalライセンス認証ウィザード」ウィンドウが表示されます。この場合は、「Office XP Professional」に添付のOffice XPのセットアップガイドをご覧になり、ライセンス認証を行ってください。

Office XP Professionalを再セットアップする

Windows 2000の場合

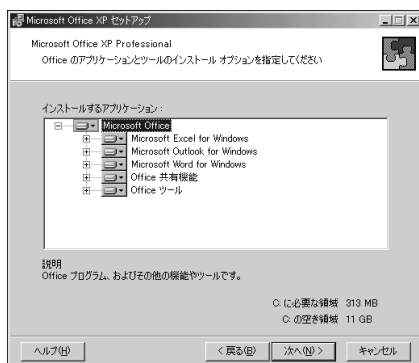
- 1 「Office XP Professional」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
自動的にセットアッププログラムが起動し、しばらくすると次の画面が表示されます。







チェック!! ・「Windows 2000の紹介」の画面を表示させている場合は、この画面がうしろに隠れてしまう場合があります。

- 2 「ユーザー情報(ユーザー名、頭文字、所属、プロダクトキー)」を入力する
ユーザー名やその他の項目の入力は省略することができます。
なお、プロダクトキー(「Office XP Professionalの添付品」に記載されています)をここで入力すると、Office XP アプリケーションを最初に起動したときのプロダクトキーの入力作業が必要なくなります。
- 3 「次へ」ボタンをクリックする
使用許諾契約書の画面が表示されます。
- 4 画面の内容をよく読み、「使用許諾契約書」の条項に同意します」のをクリックしてにし、「次へ」ボタンをクリックする
インストールの種類を選択する画面が表示されます。

- 5 「カスタム」の をクリックして にし、「次へ」ボタンをクリックする
インストールするOffice XPのアプリケーションを指定する画面が表示されます。
- 6 「アプリケーションごとにオプションを指定してインストールします」の をクリックして にし、「次へ」ボタンをクリックする
次の画面が表示されます。



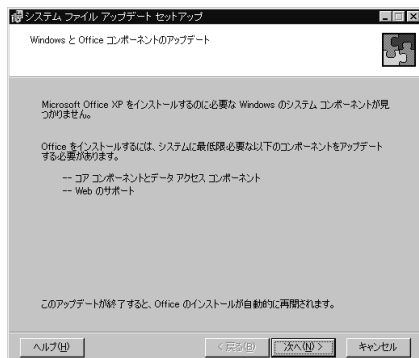
- 7 (Microsoft Office) をクリックし、表示されるメニューから「マイ コンピュータからすべて実行」をクリックする
灰色で表示されたアイコンがないことを確認してください。
- 8 「Microsoft Excel for Windows」-「読み上げ」の をクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする
 をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、 (読み上げ) が (X) に変わります。
- 9 「Office 共有機能」-「入力システムの拡張」-「音声」の をクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする
 をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、 (音声) が (X) に変わります。

- 10** 「Office 共有機能」-「入力システムの拡張」-「IME」-「IME パッドアプレット」-「音声アプレット」の  クリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする
 をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、 (音声アプレット) が  に変わります。
- 11** 「次へ」ボタンをクリックする
インストール内容の確認画面が表示されます。
- 12** 「完了」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まり、自動的に設定が行われます。しばらくお待ちください。
インストールが終了すると、再起動をうながすメッセージが表示されます。
- 13** 「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
- 14** CD-ROMドライブから「Office XP Professional」CD-ROMを取り出す

これで再セットアップは終了です。
p.72の「各種の設定をする」に進んでください。

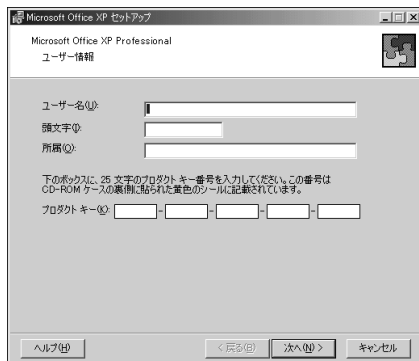
Windows NT 4.0の場合

- 1 「Office XP Professional」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
自動的にセットアッププログラムが起動し、しばらくすると次の画面が表示されます。



- 2 「次へ」ボタンをクリックする
Windowsの更新を選択する画面が表示されます。
- 3 「Windowsの更新」の▼をクリックし、「Microsoft Internet Explorer をアップグレードしない」を選択して「次へ」ボタンをクリックする
「Microsoft Internet Explorer をアップグレードしない」が表示されたことを確認してください。
- 4 「次へ」ボタンをクリックする
使用許諾契約書の画面が表示されます。
- 5 画面の内容をよく読み、「使用許諾契約書」の条項に同意します」の☐をクリックして☑にし、「完了」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まり、自動的に設定が行われます。しばらくお待ちください。
インストールが終了すると、再起動をうながすメッセージが表示されます。

- 6** 「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動し、自動的にセットアッププログラムが起動し、しばらくすると次の画面が表示されます。



- 7** 「ユーザー情報(ユーザー名、頭文字、所属、プロダクトキー)」を入力する
ユーザー名やその他の項目の入力は省略することができます。
なお、プロダクトキー(「Office XP Professionalの添付品」に記載されています)をここで入力すると、Office XP アプリケーションを最初に起動したときのプロダクトキーの入力作業が必要なくなります。

- 8** 「次へ」ボタンをクリックする
使用許諾契約書の画面が表示されます。





- 9** 画面の内容をよく読み、「使用許諾契約書」の条項に同意します」のをクリックしてにし、「次へ」ボタンをクリックする
インストールの種類を選択する画面が表示されます。

- 10** 「カスタム」のをクリックしてにし、「次へ」ボタンをクリックする
インストールするOffice XPのアプリケーションを指定する画面が表示されます。

- 11 「アプリケーションごとにオプションを指定してインストールします」の をクリックして にし、「次へ」ボタンをクリックする次の画面が表示されます。



- 12 (Microsoft Office) をクリックし、表示されるメニューから「マイコンピュータからすべて実行」をクリックする
灰色で表示されたアイコンがないことを確認してください。
- 13 「Microsoft Excel for Windows」-「読み上げ」の をクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする
 をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、 (読み上げ) が に変わります。
- 14 「Office共有機能」-「入力システムの拡張」-「音声」の をクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする
 をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、 (音声) が に変わります。
- 15 「Office 共有機能」-「入力システムの拡張」-「IME」-「IME パッドアプレット」-「音声アプレット」の をクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする
 をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、 (音声アプレット) が に変わります。

- 16** 「Officeツール」-「高速検索のサポート」のをクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする
をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、「高速検索のサポート」がに変わります。
- 17** 「次へ」ボタンをクリックする
インストール内容の確認画面が表示されます。
- 18** 「完了」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まり、自動的に設定が行われます。しばらくお待ちください。
インストールが終了すると、再起動をうながすメッセージが表示されます。
- 19** 「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
- 20** CD-ROMドライブから「Office XP Professional」CD-ROMを取り出す

これで再セットアップは終了です。
p.72の「各種の設定をする」に進んでください。





Office 2000 Personalの再セットアップ (Office 2000 Personalモデルのみ)

ここでの作業は、Office 2000 Personalモデルのみに必要な作業です。
Office 2000 Professionalモデルの場合はp.62をご覧ください。
Office XP Personalモデルの場合はp.38をご覧ください。
Office XP Professionalモデルの場合はp.46をご覧ください。

Office 2000 Personalの再セットアップでは次の作業を行います。

- ・ Office 2000 Personalを再セットアップする
- ・ MS-IME 2000を再セットアップする(Windows NT 4.0のみ)
- ・ 「IMEツールバー」を非表示にする(Windows NT 4.0のみ)
- ・ スタートアップに登録されているショートカットを削除する

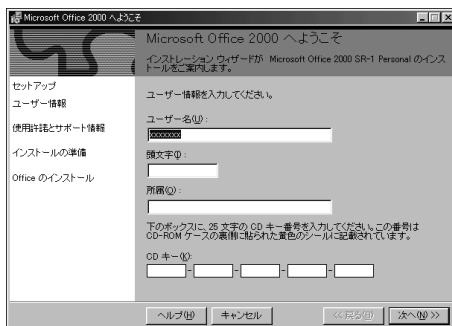
-  **チェック!!** Office 2000 Personalを再セットアップした場合、スタートメニューに登録される場所とは異なります。
- ・ CD-ROMドライブが内蔵されていないモデルで、PCカード経由でCD-ROMドライブをお使いの場合は、いったん電源を切りPCカードスロットにPCカードを挿入してから電源を入れなおしてください。
 - ・ CD-ROMドライブが内蔵されていないモデルで、USB CD-ROMドライブをお使いの場合は、Office 2000 Personalを再セットアップする前にUSB CD-ROMドライブを使える状態にしておいてください。
 - ・ Office 2000 Personalを再セットアップする場合は、必ずユーザ名「Administrator」でログオンしてから行ってください。

-  **チェック!!** Windows 2000をご使用の場合、本機にはWindows 2000 Service Pack 1日本語版(以下Service Pack 1)がインストールされています。Service Pack 1はWindows再セットアップ直後(Office 2000 Personalの再セットアップを行う前)にしか削除することができません。Service Pack 1を削除する場合は『活用ガイド ソフトウェア編』のPART4「トラブル解決Q&A」をご覧ください。

Office 2000 Personalを再セットアップする

Windows 2000の場合

- 1 「Office 2000 Personal」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
自動的にセットアッププログラムが起動し、しばらくすると次の画面が表示されます。



- **チェック!!** ・「Windows 2000の紹介」の画面を表示させている場合は、この画面がうしろに隠れてしまう場合があります。
- ・ここではユーザー情報の登録は行いません。ユーザー情報の登録は、Office 2000 Personalセットアップ後、Word、Excel、Outlookの各アプリケーションのいずれかを初めて起動したときに行います。

2 「次へ」ボタンをクリックする

「Microsoft Office 2000 使用許諾とサポート情報」の画面が表示されます。

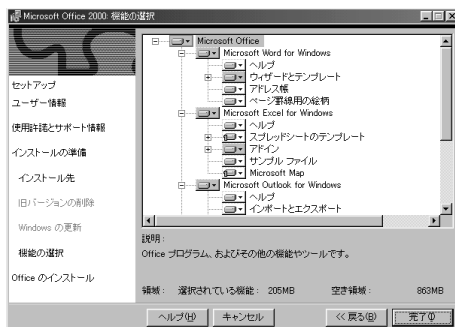
3 画面の内容をよく読み、「使用許諾契約書」の条項に同意します」を(オン)にして、「次へ」ボタンをクリックする


「Microsoft Office 2000 インストールの準備」の画面が表示されます。

4 (カスタマイズ) をクリックする

「Microsoft Office 2000 インストール先」の画面が表示されます。

- 5** インストール先が「C:¥Program Files¥Microsoft Office¥」になっていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする
「Microsoft Office 2000: 機能の選択」の画面が表示されます。

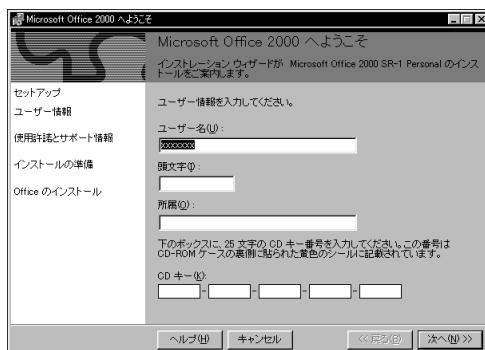


- 6**  (Microsoft Office) をクリックし、表示されたメニューから「マイコンピュータからすべて実行」をクリックする
- 7** 「完了」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まり、自動的に設定が行われます。しばらくお待ちください。
- 8** 「インストーラ情報」の画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
- 9** 「Microsoft Office 2000 SR-1 Personalのセットアップが正常に終了しました。」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリックする
- 10** 本機を再起動する
手順8で再起動した場合は必要ありません。
- 11** CD-ROMドライブから「Office 2000 Personal」CD-ROMを取り出す


このあと、「スタートアップに登録されているショートカットを削除する」(p.61)に進んでください。

Windows NT 4.0の場合

- 1 CD-ROMドライブに「Office 2000 Personal」CD-ROMをセットする
自動的にセットアッププログラムが起動し、しばらくすると次の画面が表示されます。



チェック!! ここではユーザー情報の登録は行いません。ユーザー情報の登録は、Office 2000 Personal セットアップ後、Word、Excel、Outlook の各アプリケーションのいずれかを初めて起動したときに行います。

- 2 「次へ」ボタンをクリックする
「Microsoft Office 2000 使用許諾とサポート情報」の画面が表示されます。
- 3 画面の内容をよく読み、「使用許諾契約書」の条項に同意しますを (オン) にして、「次へ」ボタンをクリックする
「Microsoft Office 2000 インストールの準備」の画面が表示されます。
- 4  (カスタマイズ) をクリックする
「Microsoft Office 2000 インストール先」の画面が表示されます。
- 5 インストール先が「C:¥Program Files¥Microsoft Office¥」になっていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする
「Microsoft Internet Explorer 5.0 アップグレード」の画面が表示されます。この画面が表示されない場合は、手順7へ進んでください。

- 6 「Windows の更新」の▼をクリックし、「Microsoft Internet Explorer をアップグレードしない」を選択して「次へ」ボタンをクリックする

「Microsoft Office 2000: 機能の選択」の画面が表示されます。



- 7 [Microsoft Office] をクリックし、表示されたメニューから「マイコンピュータからすべて実行」をクリックする

- 8 「完了」ボタンをクリックする

ファイルのコピーが始まり、自動的に設定が行われます。しばらくお待ちください。

- 9 「インストーラ情報」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

本機が再起動し、「IMEのセットアップ」の画面が表示されます。

次にMS-IME 2000を再セットアップします。

MS-IME2000を再セットアップする(Windows NT 4.0のみ)

1 「はい」ボタンをクリックする

- チェック!** MS-IME2000を追加しない場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。Office 2000 Personalの追加後にMS-IME2000を追加したい場合には、「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「名前」に「<CD-ROMドライブ名>:¥MSIME¥SETUP.EXE」と入力して「OK」ボタンをクリックしたあと、手順4～12の操作を行ってください。

次の画面が表示されます。



2 「次へ」ボタンをクリックする

使用許諾契約書の確認の画面が表示されます。

3 画面の内容をよく読み、「使用許諾契約書」に同意します」を☑(オン)にして、「次へ」ボタンをクリックする

「ユーザー情報の登録」の画面が表示されます。

4 ユーザー情報を確認し、「次へ」ボタンをクリックする

「Microsoft IME 2000 インストールの準備が整いました」と表示されます。

5 「標準」が選択されているのを確認し、「次へ」ボタンをクリックする


「インストールしますか?」と表示されます。

6 「インストール」ボタンをクリックする

ファイルのコピーが始まります。


- チェック!!** 「インストールを継続するには、次のアプリケーションを閉じる必要があります」の画面が表示された場合は、画面に表示されたアプリケーションを終了してから「再試行」ボタンをクリックしてください。

セットアップが終了すると、「セットアップが完了しました。」と表示されます。

- 7** 「OK」ボタンをクリックする
再起動をうながすメッセージが表示されます。
- 8** 「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
再起動後、「Microsoft IME 2000 へのユーザー情報の登録」の画面が表示されます。
この画面は、「ようこそ-Microsoft Internet Explorer」の画面を表示させているときにうしろに隠れてしまう場合がありますので、「Microsoft IME 2000へのユーザー情報の登録」画面をアクティブにしてください。
- 9** 画面の内容を確認し、「OK」ボタンまたは「登録しない」ボタンをクリックする
「Microsoft IME 2000 日本語入力システム」の画面が表示されます。
- 10** ウィンドウ右上の  をクリックし、「Microsoft IME 2000 日本語入力システム」の画面を閉じる
- 11** CD-ROMドライブから「Office 2000 Personal」CD-ROMを取り出す
- 12** 本機を再起動する



「IMEツールバー」を非表示にする(Windows NT 4.0のみ)

「IMEツールバー」が表示されている場合は、以下の手順で非表示にすることができます。

- 1** 「IMEツールバー」の  をクリックする
- 2** 「Microsoft IME 2000のプロパティ」画面が表示されたら「ツールバー」タブをクリックする

- 3 「IMEツールバーの表示方法」で「直接入力のためにIMEツールバーを隠す」をチェックして、「OK」ボタンをクリックする

スタートアップに登録されているショートカットを削除する

- 1 「スタート」ボタンを右クリックする
- 2 「エクスプローラ - All Users」をクリックする
- 3 「スタート」メニューの中にある「プログラム」ボタンの  をクリックする
- 4 「スタートアップ」をクリックし、右側の「Microsoft Office」ショートカットを右クリックする
- 5 表示されたメニューから「削除」をクリックする
- 6 「ショートカットの削除の確認」で「はい」ボタンをクリックする
- 7 エクスプローラの画面右上の  をクリックする

これで再セットアップは終了です。
p.72の「各種の設定をする」に進んでください。



Office 2000 Professionalの再セットアップ (Office 2000 Professionalモデルのみ)

ここでの作業は、Office 2000 Professionalモデルのみに必要な作業です。
Office 2000 Personalモデルの場合はp.54をご覧ください。
Office XP Personalモデルの場合はp.38をご覧ください。
Office XP Professionalモデルの場合はp.46をご覧ください。

Office 2000 Professionalの再セットアップでは、次の作業を行います。

- ・ Office 2000 Professionalを再セットアップする
- ・ Publisher 2000、顧客データマネージャ2000、Business Plannerを再セットアップする
- ・ MS-IME 2000を再セットアップする(Windows NT 4.0のみ)
- ・ 「IMEツールバー」を非表示にする(Windows NT 4.0のみ)
- ・ スタートアップに登録されているショートカットを削除する



チェック!!

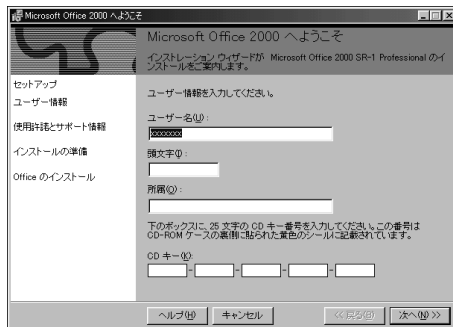
- ・ Office 2000 Professionalを再セットアップした場合、スタートメニューに登録される場所をご購入時とは異なります。
- ・ CD-ROMドライブが内蔵されていないモデルで、PCカード経由でCD-ROMドライブをお使いの場合は、いったん電源を切りPCカードスロットにPCカードを挿入してから電源を入れなおしてください。
- ・ CD-ROMドライブが内蔵されていないモデルで、USB CD-ROMドライブをお使いの場合は、Office 2000 Professionalを再セットアップする前にUSB CD-ROMドライブを使える状態にしておいてください。
- ・ Office 2000 Professionalを再セットアップする場合は、必ずユーザ名「Administrator」でログオンしてから行ってください。
- ・ Windows 2000をご使用の場合、本機にはWindows 2000 Service Pack 1 日本語版(以下Service Pack 1)がインストールされています。Service Pack 1はWindows再セットアップ直後(Office 2000 Professionalの再セットアップを行う前)にしか削除することができません。Service Pack 1を削除する場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』のPART4「トラブル解決Q&A」をご覧ください。

Office 2000 Professionalを再セットアップする

Windows 2000の場合

1 「Office 2000 Professional Disc1」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

自動的にセットアッププログラムが起動し、しばらくすると次の画面が表示されます。



チェック!! ・「Windows 2000の紹介」の画面を表示させている場合は、この画面がうしろに隠れてしまう場合があります。

・ここではユーザー情報の登録は行いません。ユーザー情報の登録は、Office 2000 Professionalセットアップ後、Word、Excel、Outlook、PowerPoint、Access、Publisher、顧客データマネージャの各アプリケーションのいずれかを初めて起動したときに行います。

2 「次へ」ボタンをクリックする

「Microsoft Office 2000 使用許諾とサポート情報」の画面が表示されます。

3 画面の内容をよく読み、「使用許諾契約書」の条項に同意しますを (オン) にして、「次へ」ボタンをクリックする

「Microsoft Office 2000 インストールの準備」の画面が表示されます。

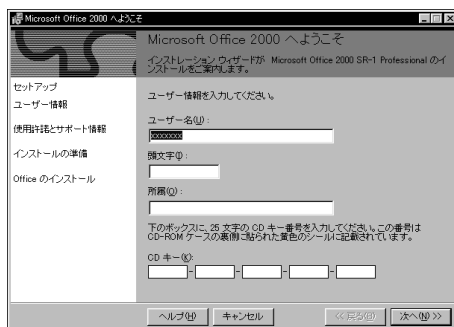
4 (今すぐインストール) をクリックする

ファイルのコピーが始まり、自動的に設定が行われます。しばらくお待ちください。

- 5 「インストーラ情報」の画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
- 6 「Microsoft Office 2000 SR-1 Professionalのセットアップが正常に終了しました。」と表示された場合は「OK」ボタンをクリックする
- 7 本機を再起動する
手順5で再起動した場合は必要ありません。
- 8 CD-ROMドライブから「Office 2000 Professional Disc1」CD-ROMを取り出す


Windows NT 4.0の場合

- 1 CD-ROMドライブに「Office 2000 Professional Disc1」CD-ROMをセットする
自動的にセットアッププログラムが起動し、しばらくすると次の画面が表示されます。



チェック!! ここではユーザー情報の登録は行いません。ユーザー情報の登録は、Office 2000 Professional セットアップ後、Word、Excel、Outlook、PowerPoint、Access、Publisher、顧客データマネージャの各アプリケーションのいずれかを初めて起動したときに行います。

- 2 「次へ」ボタンをクリックする
「Microsoft Office 2000 使用許諾とサポート情報」の画面が表示されます。

- 3 画面の内容をよく読み、「使用許諾契約書」の条項に同意します」を  (オン) にして、「次へ」ボタンをクリックする


「Microsoft Office 2000 インストールの準備」の画面が表示されます。

- 4  (カスタマイズ) をクリックする

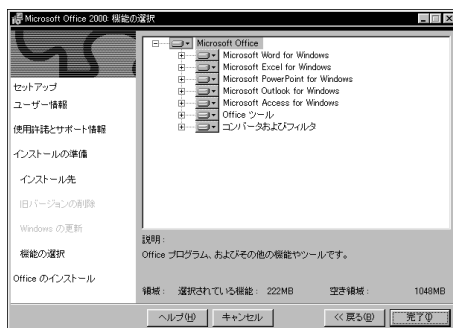
「Microsoft Office 2000 インストール先」の画面が表示されます。

- 5 インストール先が「C:¥Program Files¥Microsoft Office¥」になっていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする

「Microsoft Internet Explorer 5.0 アップグレード」の画面が表示されます。

- 6 「Windows の更新」の  をクリックし、「Microsoft Internet Explorer をアップグレードしない」を選択して「次へ」ボタンをクリックする

「Microsoft Office 2000: 機能の選択」の画面が表示されます。



- 7 「完了」ボタンをクリックする

インストールが始まり、自動的に設定が行われます。しばらくお待ちください。

- 8 「インストーラ情報」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

本機が再起動します。

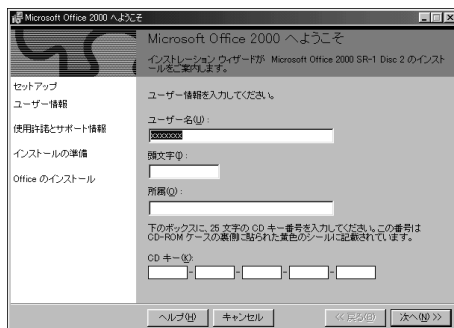
再起動後、MS-IMEを新しくするようにながすメッセージが表示された場合は、「いいえ」をクリックし、次の「Publisher、顧客データマネージャ、Business Plannerを再セットアップする」を行ったあとにp.69の手順で追加を行ってください。

9 CD-ROMドライブから「Office 2000 Professional Disc1」CD-ROMを取り出す

Publisher、顧客データマネージャ、Business Plannerを再セットアップする

1 「Office 2000 Professional Disc2」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

自動的にセットアッププログラムが起動し、しばらくすると次の画面が表示されます。



チェック!! ここではユーザー情報の登録は行いません。ユーザー情報の登録は、Office 2000 Professional セットアップ後、Word、Excel、Outlook、PowerPoint、Access、Publisher、顧客データマネージャの各アプリケーションのいずれかを初めて起動したときに行います。

2 「次へ」ボタンをクリックする


「Microsoft Office 2000 使用許諾とサポート情報」の画面が表示されます。

3 画面の内容をよく読み、「使用許諾契約書」の条項に同意します」を (オン) にして、「次へ」ボタンをクリックする

「Microsoft Office 2000 インストールの準備」の画面が表示されます。

これ以降は、お使いのWindowsにより手順が異なります。

- ・ Windows 2000の場合
このまま手順4に進んでください。
- ・ Windows NT 4.0の場合
手順9に進んでください。

4  (今すぐインストール) をクリックする
ファイルのコピーが始まり、自動的に設定が行われます。しばらくお待ちください。


5 「インストーラ情報」の画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

6 「Microsoft Office 2000 SR-1 Disc 2のセットアップが正常に終了しました。」と表示された場合は「OK」ボタンをクリックする

7 本機を再起動する
手順5で再起動した場合は必要ありません。

8 「Office 2000 Professional Disk2」CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す

このあと、「スタートアップに登録されているショートカットを削除する」(p.71)に進んでください。

9  (カスタマイズ) をクリックする
「Microsoft Office 2000 インストール先」の画面が表示されます。

10 インストール先が「C:¥Program Files¥Microsoft Office¥」になっていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする
「Microsoft Internet Explorer 5.0 アップグレード」の画面が表示されます。

- 11** 「Windowsの更新」の▼をクリックし、「Microsoft Internet Explorer をアップグレードしない」を選択して「次へ」ボタンをクリックする

「Microsoft Office 2000: 機能の選択」の画面が表示されます。



- 12** 「完了」ボタンをクリックする

「Microsoft Office 2000のインストール」の画面が表示され、自動的に設定が行われます。しばらくお待ちください。


- 13** 「インストーラ情報」の画面が表示された場合は「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。


- 14** 「Microsoft Office 2000 SR-1 Disc 2のセットアップが正常に終了しました。」と表示された場合は「OK」ボタンをクリックする

- 15** 本機を再起動する
手順13で再起動した場合は必要ありません。

- 16** 「Office 2000 Professional Disc2」CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す


MS-IME2000を再セットアップする(Windows NT 4.0のみ)

- 1 CD-ROMドライブに「Office 2000 Professional Disc1」のCD-ROMをセットする
 - 2 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
 - 3 「名前」に「<CD-ROMドライブ名>:¥MSIME¥SETUP.EXE」と入力し「OK」ボタンをクリックする
 - 4 「Microsoft IME 2000 へようこそ。」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
使用許諾契約書の確認の画面が表示されます。
 - 5 画面の内容をよく読み、「使用許諾契約書」に同意します」を (オン)にして、「次へ」ボタンをクリックする
「ユーザー情報の登録」の画面が表示されます。
 - 6 ユーザー情報を確認し、「次へ」ボタンをクリックする
「Microsoft IME 2000 インストールの準備が整いました」と表示されます。
 - 7 「標準」が選択されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックする
「インストールしますか?」と表示されます。
 - 8 「インストール」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。
-  **チェック!!** 「インストールを継続するには、次のアプリケーションを閉じる必要があります」の画面が表示された場合は、画面に表示されたアプリケーションを終了してから「再試行」ボタンをクリックしてください。
- 9 「セットアップが完了しました」の画面で「OK」ボタンをクリックする



- 10** 再起動をうながすメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
再起動後、「Microsoft IME 2000 へのユーザー情報の登録」の画面が表示されます。
この画面は、「ようこそ-Microsoft Internet Explorer」の画面を表示させているときにうしろに隠れてしまう場合がありますので、「Microsoft IME 2000へのユーザー情報の登録」画面をアクティブにしてください。
- 11** 画面の内容を確認し、「OK」ボタンまたは「登録しない」ボタンをクリックする
「Microsoft IME 2000 日本語入力システム」の画面が表示されます。
- 12** ウィンドウ右上のをクリックし、「Microsoft IME 2000 日本語入力システム」の画面を閉じる
- 13** 「Office 2000 Professional Disc1」CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す
- 14** 本機を再起動する

「IMEツールバー」を非表示にする(Windows NT 4.0のみ)

「IMEツールバー」が表示されている場合は、以下の手順で非表示にすることができます。

- 1** 「IMEツールバー」のをクリックする
- 2** 「Microsoft IME 2000のプロパティ」画面が表示されたら「ツールバー」タブをクリックする
- 3** 「IMEツールバーの表示方法」で「直接入力のおきにIMEツールバーを隠す」をチェックして、「OK」ボタンをクリックする

スタートアップに登録されているショートカットを削除する

- 1 「スタート」ボタンを右クリックする
- 2 「エクスプローラ - All Users」をクリックする
- 3 「スタート」メニューの中にある「プログラム」ボタンの  をクリックする
- 4 「スタートアップ」をクリックし、右側の「Microsoft Office」ショートカットを右クリックする
- 5 表示されたメニューから「削除」をクリックする
- 6 「ショートカットの削除の確認」で「はい」ボタンをクリックする
- 7 エクスプローラの画面右上の  をクリックする

これで再セットアップは終了です。
p.72の「各種の設定をする」に進んでください。



各種の設定をする

機器や設定を元に戻す

機器を取り付ける

再セットアップ前に取り外した周辺機器を元通りに取り付け、機器の設定を行ってください。

参照▶ 周辺機器を設定する 『活用ガイド ハードウェア編』の「PART2 周辺機器を使う」

パソコンの設定を元に戻す

購入後に設定した内容はすべて購入時の状態に戻っています。インターネットやBIOSセットアップメニューなどのパソコンの設定をやり直してください。

再セットアップ前にユーザパスワードやスーパーバイザパスワードが設定されていた場合は、その設定が引き続き有効になっています。新たに設定しなおす必要はありません。

プロバイダに加入している場合、すでに取得しているIDやパスワードをそのまま使うことができます。新たにサインアップをやり直す必要はありません。

アプリケーションをインストールしなおす

パソコン購入後にインストールした別売のアプリケーションや、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールしたアプリケーションは、再セットアップ後には消去されています。あらためてインストールしなおしてください。



活用ガイド

再セットアップ編

PC98-**NX** SERIES

VersaPro

(Windows® 2000 Professional /
Windows NT® 4.0セレクトابل)

初版 2001年5月

NEC

P

853-810028-143-A